

6月号

第425号

いっしん

令和2年(2020年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

身を忘れ
家を忘れて
道のため
つくす心ぞ
真なるらむ
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

教祖様137年 教団独立120年 小倉布教135年 甘木布教116年
安武松太郎大人69年 安武文雄大人25年(式年祭11月23日) 加治木教会布教69年



※新型コロナウイルス感染症防止対策に、油断なく、
十分気を付けさせていただきます。

コロナ禍のなかに 天地金乃神御大祭を お迎えして

今年の天地金乃神御大祭は、新型コロナウイルス感染症対策のため、御本部は参拝者なしで仕えられ、甘木親教会、隣接・関係の教会も、ほとんどその教会の信者さんのみの参拝で、内々という状態でお仕えされました。

金光教は、人の助かり、社会の助かりを祈るお道ですから、全国的な緊急事態宣言が発令された中で、公衆衛生が確実に守られない動きをしていては、神様の申し召しにも添わないこととなります。

そのため、加治木教会でも、月例祭においては「三密」にならないように気を付けて、ご祭典はきわめて内々でお仕えし、参拝も分散気味でお仕えさせていただきました。

そのように、参拝をひかえなければなりません。教祖様の時代にもありましたので、次のページで少し紹介させていただきます。その内容を天地金乃神御大祭奉迎の心がまえにつなげさせていただきます。

天地金乃神御大祭をお迎えして…P1～3
チャレンジカード・取り組み表について…P4～5

お知らせ…P 5
教会行事…P 6

(※前ページからのつづき)
教祖様の時代にも参拝ができなかったことが…

「神前撤去」について

その原因は、感染症の蔓延ではありませんでした。

明治維新による、国政の急激な西欧化による変革でした。

それは、明治六年以後のことで、鹿児島県人は良く知っての通り、世の中が「西南戦争」へ傾き出した時のことで、国は西欧化を推し進め、国家制度や法律を大きくあらため、宗教政策においても淫祠邪教を廃していくがわしい宗教活動を厳しく取り締まりました。

そのため、金光教のお道がまだ宗派として確立されていませんでしたので、取り締まりの対象となり、教祖様も御用を差し止められ、ご神前を片付けなければならなくなりました。

この時のことをお道では「神前撤去」と示されており、

神様からは、

「神のこと家内中忘れな。人を頼むことすな。良し悪し、神任せにいた

せい。心配すな。世は変わりもの、五年の辛抱いたし。とにかく、内輪きげんよういたし。もの言いでも、あなたこなたと申してよし。何事もあだ口申すな。」

とのお優しいおさとし的なお伝えがあっております。

また、これから「五年の辛抱」というのは、ちょうど西南戦争(明治九年九月終結)が終わるので、世の中が落ち着くまでの辛抱ということでもあったのでしよう。

しかし、教祖様はお上(政局や官憲)に対し素直に「実意を立てぬき候」という態度を取られ、社会的存在として果たすべき役目があるその指針を示されたのです。

そうして御用をお止めになってあった「神前撤去」以後に、本教の要となる「天地書附」が生まれました。

(この八冊は「天」
「地」四月号参考)

この当時の教祖様のご態度は「何事も神様のお差し向け」という受け取られ方であり、お道の信奉者としては大切にしなければならぬ信心姿勢といえます。

「神様のお差し向け」

と受けて信心を進められた

親教会の初代安武松太郎先生は、「よいこともわるいことも神様のお差し向けと頂けばおかげになる」(延岡教会初代塚本清三郎師へ)と教えられておられます。

私たちお道の信奉者は、このような時(緊急事態宣言が発令され不自由である時)こそ、静かにシッカリと神様に心を回けて、自身の上に、家族の上に、地域社会・国家社会の上までに、おかげを蒙らせていただいて行かねばなりません。

そのためには、信心に怠りなく、弛みなく、人知れず信心の稽古に努めて行くことが大切なことであります。

天地金乃神御大祭を

お迎えするにあたっては

そのような親神様の思し召しに添うことのできる、信心の稽古の内容として、近年加治木教会で呼びかけておりますことは、信奉者一同で、

矢野クラ刀自（矢野政美大人の母堂）が、甘木親教会の初代 安武松太郎先生から教え伝えられた「親神様の御立場に立った信心」で、次のような信心実践項目です。

① 「自分中心・自己中心の信心」から

← 「親神様の御立場に立った信心」に

② 「親神様を道具に使う（いつのまにか利用するばかりの）信心」から

← 「親神様にお喜びいただき、ご安心いただき、助かっていただく信心」に

③ 「おかげを信じる信心」から

← 「親神様・ご神慮を信じる信心」に

「このように信心が育ち進んでいくことでもあります。」

この三箇条に取り組ませていただき、いっそう教祖様の信心に近づ

かせていただきたいものであります。そのような内容で信心の稽古を進め、信心の眼（まなこ）を開いて、これまで「情の上からは悲しみ」であることも「信仰の向上をはかることができる」糧とさせていただき、「神様はけっして無駄ことはなされない」というみ教えの真意をわからせていただき、真の信心を進めさせていいただいて、「真のおかげ」「ご神徳」「永遠のおかげ」を受けさせていただきたいものです。

そのようにして確かな信心を進め、親神様の願いに添えるよう、ご恩に報いることができ、お役に立たせていただきたいものです。

また、親神様のとらえ方について安武松太郎先生は、

「人間の知恵でわかるくらいの親神様ならば、人間はおろか花一輪咲かせはなさらぬでしょう。」

「黒い牛蒡を食べても白いご飯をたべても切れれば赤い血の出る五尺の身体がどうしてあるのかそがハッキリしなければ親神様に筋が通らんからな」

ともみ教え下さっており、神様への「筋の通し方」をお示し下されて

あります。

親神様は、とうてい人間には、計り知ることのできない、永遠・無限のお働きとお力をもってお恵み下さってあることをまずわきまえるべきであるということでありましょう。

しっかりと天地金乃神という親神様を私たちの心にとらえ、神様まで筋の通る信心となることに努めて、天地金乃神御大祭をお迎えさせていただきましよう。



子どもたちは 「チャレンジカード」

とりくみます！

少年少女会「チャレンジカード」は、五月から七月までの、信心の「取り組み表」です。

「第73回 少年少女全国大会」に向けての取り組みです。八月八日(土)・九日(日)の開催は、今後の状況を見て判断される予定です。

しかし、日々の信心の取り組みは、神様に感謝をささげる信心の稽古ですから、大会が開かれなくても、取り組みさせていただく意味合いは十分あります。

子どもたちだけでなく、お父さん・お母さん・お祖父さん・お祖母さん、みんなで応援してください。

六月末まで取り組みんだ人は、教会に持ってきてください。神様におそなえしてお礼申し上げます。教会の少年少女会からも、ステキなごほうびをいただけます。



中学生と、小学校低学年以下の「チャレンジカード」は、チャレンジ項目も、デザインも変わります。

おとなは、全国信徒会発行の「取り組み表」

に取り組みましょう！

全国信徒会・鹿児島地方教会連合会信徒部では、七月一日から「チェックシート」(取り組み表)による「三十日信行」か「百日信行」に、勢をそろえて取り組みさせていただきますことになりました。

「祈願用紙」の取りまとめは

五月二十二日まで、

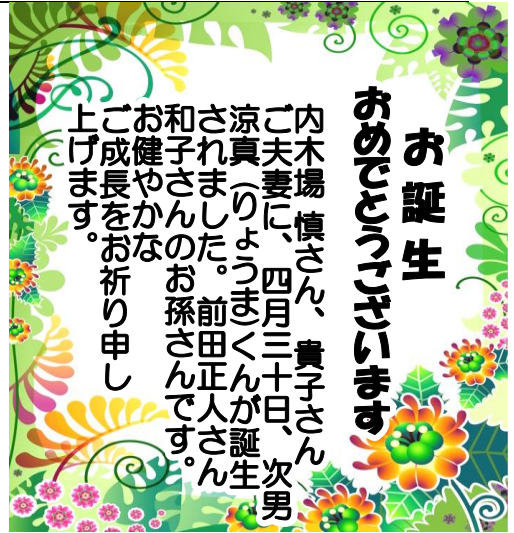
未提出の方はお早め！

「チェックシート」の取りまとめは

十月二十二日まで、

となっております。ともどもにおかけを蒙らせていただきましよう。

月	日	祈願用紙	車の乗り降り時にお礼	朝の日参りと教会のご用	食事前にお礼	水も使わせて頂く時にお礼	便、排泄にお礼	健康を頂いて頂くお礼
1		○	○	○	○	○	○	○
2		○	○	○	○	○	○	○
3		○	○	○	○	○	○	○
4		○	○	○	○	○	○	○
5		○	○	○	○	○	○	○
6		○	○	○	○	○	○	○
7		○	○	○	○	○	○	○
8		○	○	○	○	○	○	○
9		○	○	○	○	○	○	○
10		○	○	○	○	○	○	○
11		○	○	○	○	○	○	○
12		○	○	○	○	○	○	○
1		○	○	○	○	○	○	○
2		○	○	○	○	○	○	○
3		○	○	○	○	○	○	○
4		○	○	○	○	○	○	○
5		○	○	○	○	○	○	○
6		○	○	○	○	○	○	○
7		○	○	○	○	○	○	○
8		○	○	○	○	○	○	○
9		○	○	○	○	○	○	○
10		○	○	○	○	○	○	○
11		○	○	○	○	○	○	○
12		○	○	○	○	○	○	○



お誕生
おめでとうございます

内木場 慎さん、貴子さん
ご夫妻に、四月三十日、次男
涼真(りょうま)くんが誕生
されました。前田正人さん
和子さんのお孫さんです。
お健やかなお成長をお祈り申し
上げます。

あしあと

加治木教会行事記録

5月

- 1 (金) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (日) 多良木教会御大祭(内々でご奉仕)
- 5 (祝) 西鹿兒島教会御大祭(中止)
- 9 (土) 清掃御用 10時
- 10 (日) ●月例祭 生神祭光 大神様 10時半
- 17 (日) 鹿兒島教会御大祭(内々でご奉仕)
大木場家地鎮祭
- 21 (木) 清掃御用 10時
市来家霊祭
- 22 (金) ●月例祭・共励会 13時半
- 23 (土) 大口教会御大祭(内々でご奉仕)
- 26 (火) 龍笛練習 17時
- 30 (土) 清掃御用 10時
- 31 (日) 加治木教会御大祭(内々13時半)

少年少女全国大会に向け7月末まで

まごころ運動

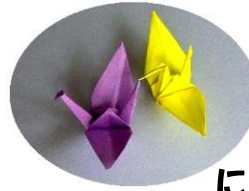
に取り組みましょう。

平和の折りづる

※古切手・古カード

えんぴつ(新)

を集めます。



▼換金後 海外の恵まれない子どもたちへ送られます。

使用済み切手収集についてのお願い

※お願い

*切手ははがさないで、以下の要領
で切り取ってください。

*切手の周囲を5mm程度あけて切り
取ってください。

*枚数を明記してお届けください。

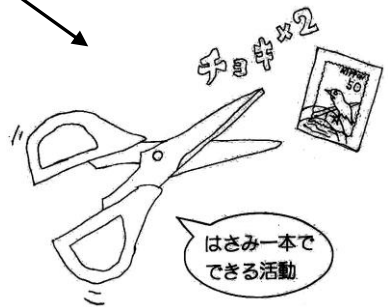
*外国切手や台紙からはがした切手
がある場合は別にしてお届けくだ
さい。



ご霊神様のお立日

六月

- 平地正巳 之霊神 (1日) 昭和20年
 - 前田 豊 之霊神 (6日) 昭和20年
 - 星原雅志 之霊神 (11日) 昭和56年
 - 最勝寺ヒサ之霊神 (11日) 平成11年
 - 汰木セツエ之霊神 (11日) 平成22年
 - 大重為光 之霊神 (20日) 平成18年
 - 三反クニ子之霊神 (24日) 昭和21年
 - 平地フヂエ之霊神 (25日) 昭和18年
 - 安武シケ清和大刀自之霊神 (26日) 昭和32年
 - 前田賢二 之霊神 (27日) 平成3年
 - 金竹フミ之霊神 (27日) 平成25年
 - 本中野米子 之霊神 (30日) 昭和62年
- 立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を
申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での
玉串の奉てんを準備しています。



使用済み切手の収集は
少年少女全国大会
「まごころ運動」の
取り組みのひとつです。

六月十日(水)前 十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

布教69年記念祭奉仕

※祭典後、教話。

六月三十日(火)十時半より

上半期感謝祭奉仕

※感謝祭お届け用紙にご記入の上御結界へお届け下さい。

七月五日(日) 午前十一時より

加治木教会 前日御用奉仕

祈願祭 奉仕

「祭典後、教話・直会。」

六月二十日(土)十時半より
少年少女会 野外調理

仙寿の里温泉の森で、親子で野外調理をしたいと予定しています！
※天候の状況等により変更があります。

教会行事

6月

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (水) 親教会参拝日(参拝未定)
- 9 (火) 清掃御用 10時
- 10 (水) ●月例祭 生神金光 大神様 10時半
併せて加治木教会布教69年記念祭
- 14 (日) 御本部教団独立記念祭 選擇 10時
- 20 (土) 少年少女会 10時半
- 21 (日) 清掃御用 10時
- 22 (月) ●月例祭・共励会 13時半
- 26 (金) 5/27 (土)
甘木親教会 教師婦人部会
- 29 (月) 清掃御用 10時
- 30 (火) 上半期感謝祭 10時半

連合会行事で

中止になった行事

(新型コロナウイルス感染症流行のため)

- ◎「信奉者研修会」 七月五日(日)
- ◎「女性のつどい」 九月六日(日)
- ◎「青年のひろば」 九月十二日(土)～十三日(日)

7月

- 1 (水) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (金) 親教会参拝日(参拝未定)
- 4 (土) 御用奉仕
- 5 (日) ●加治木教会 祈願祭 11時
- 9 (木) 清掃御用 10時
- 10 (金) ●月例祭 10時半
- 11 (土) 少年少女会(七夕) 10時半
- 16 (木) 甘木親教会 教師研修会
- 17 (金) ●甘木親教会 祈願祭
- 21 (火) 清掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭 一祭典のみ 10時半
- 27 (月) さつま会 (連合会 婦人教師会) 10時半
- 31 (木) 清掃御用 10時

